

## (11) 研修の充実

教員等の資質を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・実践的な研修の充実に努める。

### 実践事項

★は、特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項

#### 1 教員等の資質の向上に関する指標を踏まえた研修の推進

- ・教員一人一人が自らの資質の向上に向けて主体的・計画的に取り組むよう、指標の趣旨、内容及び研修の方法等について、全教職員で共通理解を図る。
- ・自らの成長段階や職責、経験、適正等に応じて指標を活用し、更に高度な段階を目指して、校外研修、校内研修、日常的な職場内研修を推進する。

#### 2 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実

- ・自園、自校の教育課題を明らかにし、園長、校長の方針の下、課題解決に向けて全教職員が日常的に学び合う校内研修体制を整備し、機能させる。
- ★学校の教育課題解決のため、研究のねらいや目指す幼児児童生徒像、内容、方法、共有方法、検証方法を明確にし、具体的な研究計画を立案する。
- ・研究内容と日常の授業とを関連付けながら、授業実践を積み重ねる。
- ・授業参観の視点を焦点化し、全教職員が主体的に参加できる研究協議を行い、明らかにした成果と課題を日常の授業実践に生かす。
- ・諸検査及び諸調査等の結果分析を基に、研究内容や研究方法について適切に評価し、改善を図る。

#### 3 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

- ・教育要領・学習指導要領の趣旨や内容を踏まえ、具体的な実践に結び付く研究・研修を進める。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業づくりや指導方法の改善、学習評価など、授業改善に資する研究・研修を進める。

※「主体的・対話的で深い学び」の視点については、「(1)授業の充実 実践事項 2(1)」参照

#### 4 家庭や地域社会と連携し、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動の研究・推進

- ・幼児児童生徒や地域の実態を的確に把握し、全教職員の協力体制の下で研究を重ね、カリキュラム・マネジメントによる特色ある教育課程を編成する。
- ・家庭や地域の人々の積極的な協力を得て地域社会との連携を深め、地域の教育資源や学習環境を一層活用する。